

静岡市 めざす子どもの姿

たくましく しなやかな子どもたち



<園 目 標>
笑顔あふれる元気な子

<重 点 目 標>
とことん好きを楽しもう

市立こども園の目指す子どもの姿

- ・自己肯定感を高める子
- ・夢中になって遊ぶ子
- ・明るく伸び伸び生活する子
- ・自分らしく表現する子
- ・楽しんで関わる子

「とことん」とは
最後の最後まで・徹底的に
どこまでも、やりたい遊び
(好きな遊び)を楽しむ。



【健康な心と体】
えがおがいっぱい

- ・基本的な生活習慣
- ・からだを動かすことを楽しむ
- ・「ありがとう」などのあいさつをする
- ・物を大切にする
- ・友達の「いいね」を見つける

【保護者との連携】

- ・子どもの成長や発達を共感
- ・遊びや生活・活動の様子をドキュメンテーションや速報での発信
- ・園の様子・子どもの様子を知ってもらうための参加会や面談
- ・塩レンジャー体操教室などの親子の触れ合い

【自己肯定感】
ほく、わたしてすごい

- ・「みてみて」「おしえて」心が動く実体験
- ・思いを出し、伝えあう
- ・自分の思い、相手の思いを大切に

【職員の連携】
チーム下川原

- ・子どもとたくさん遊び、たくさんワクワクしよう
- ・子どもの発見、気づき、思いを大切に
- ・じっくり子ども、保護者、職員と向き合おう
- ・職員同士の語り合いを大切にしよう

【探究心】
「なぜ？」がたくさん

- ・実体験を通して試したり、考えたりする
- ・「なぜ?」「どうやってやる?」そんな時は、調べたり教え合ったりする
- ・いろいろなことに挑戦する

【地域との連携】

- ・地域の人との触れ合い活動の参加(ふれあいサロン・仏教会・かわはら祭り)
- ・未就園児の家庭支援(おしゃべりサロンの育児相談・子育て協議会)
- ・地域の小学校との交流や学校見学

【特別支援】

- ・ぱんだの会(月1回)
- ・ぱんだ会議(ぱんだの会后)
- ・ピーチサロン(年4回)
- ・サポートプラン(年4回)
- ・研修報告で職員と共有

『今』の子どもの思いを大切にするために、職員は子どもと一緒に楽しんでいく。また、職員同士で伝え合いながら、園全体で子どもの思いを共有し取り組んでいく。

<研修テーマ>
「もっとやりたい」が増える保育者の援助